



# はぐ便り

2024年  
1月号  
【第108号】

## 盛岡市家庭教育研修会「はぐ講座」を開催しました！

令和5年11月28日(火)に、読み聞かせボランティア研修会・家庭教育研修会「はぐ講座『お話・絵本・読書の楽しみを子どもに』」を開催しました！講師に盛岡大学短期大学部幼児教育科助教丸山ちはや先生をお招きし、読み聞かせやお話、読書、わらべうたの大切さについて教えていただきました。研修会の内容を一部抜粋してご紹介します。



### 📖 お話・読み聞かせ・読書はなぜ大切なのか 📖

- \* 身体の大切な栄養＝**主食**ですが、**お話・読み聞かせ・読書**＝心の大切な栄養
- \* 「感情豊かな言葉をたくさん聞くこと」「五感で言葉を感じ、言葉を知ること」が大切
- \* 愛着感情の育ち・・・生で温かい心の時間。目と目を合わせる信頼感。



### 📖 年齢と成長に合わせた絵本の選び方 📖

- 👶 0～2歳頃・・・抽象的な図形・リズムのある擬態語・擬音語・オノマトペ
- 👶 2～4歳頃・・・物語のある絵本(単純なストーリーで繰り返しのある物語)小さな冒険、ドキドキハラハラするが、最後に必ず「安心」「共感」できるもの。
- 👶 4～7歳頃・・・満足のいく結末のある絵本(大人たちが真剣に、地道に、生きる姿。ずるをしない、嘘をつかない。小さいものが大切な働きをしたり、子どもが活躍したりするもの。)

### 🍀 素話の魅力 ～ストーリーテリングの力～

※素話とは・・・絵本や紙芝居を使わずに語りかけのみで伝える物語のこと。

- ★ 言葉だけで聞き、想像することを楽しむ。  
➡「想像」は人それぞれ自由。正解不正解はない。
- ★ 「考える」ことが「根気ある思考力」を育てる。
- ★ 自分の想像しているものと他者が想像しているものが同じとは限らないということを知る。➡相手の立場に立って考えるという想像力(思いやり)を育てる。
- ★ 視覚(映像)を先に与えられてしまうと・・・「想像しない」「考えない」「だれかの受け売り」になってしまう。

他にも、歌と手遊びを交えた遊び(ももたろうじゃんけん)やストーリーテリングを実演していただきました。参加者同士の交流の場では、おすすめ絵本の紹介や読み聞かせするときの工夫などの話題で盛り上がりました！

### 💬 受講者の感想

- 🍓 子どもの想像力を育てることにストップがかからないよう、自分自身の子育てや日常も見直していきたいです。
- 🍓 素話をする事や絵本のもたらす効果について分かり易く学ぶことができました。
- 🍓 メディアが育児放棄につながってしまうことを具体的に知ることができました。

### 📱 メディア依存の危険

～テレビや動画、ゲームが子どもに与える影響～

- ① 睡眠障害・・・睡眠の質の低下を招く
- ② 攻撃的になりやすい・・・暴力的なコンテンツ(やっつける、叩く、消す、殺す)の影響
- ③ 言葉の発達に遅れが生じやすい・・・幼児は直接の対話を繰り返すことで母語を獲得する。
- ④ 子どもは理性より欲望・本能が勝つため、自分でコントロールするのは難しい。メディアは好奇心をかき立てる刺激が強すぎるので、一気に依存状態に陥る。幼いほど回復は困難になり、治療は長期化してしまう・・・。
- ⑤ スマホに子守りをさせること＝「スマ放置」  
⚠️ スマ放置は新手の育児放棄 ⚠️

メディアとの関わりを見直していきましょう!!



次号は2・3月合併号です！



盛岡市家庭教育情報通信『はぐ便り』2024年1月号  
令和6年1月17日発行  
発行者・問合せ 盛岡市教育委員会 生涯学習課  
住所：盛岡市津志田14-37-2 TEL：019-639-9046  
E-mail:edu.sgs@city.morioka.iwate.jp